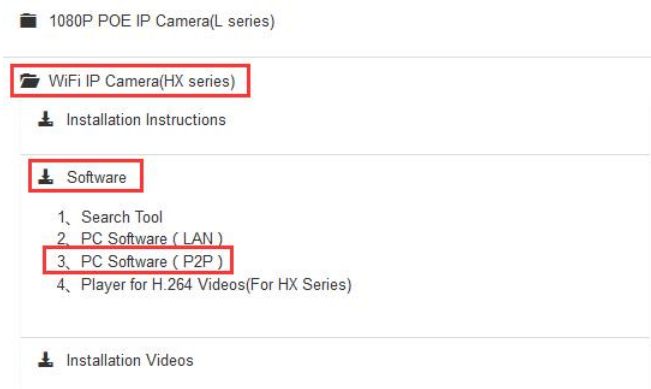


PC ソフトウェア- HiP2P Client ユーザーマニュアル(P2P)

「HiP2P Client」をインストールすると、PC でカメラを遠隔操作することができます。LAN 内映像の確認は IP Camera Client 部分のユーザーマニュアルを参考ください。

1. 「HiP2P Client」をダウンロードする

公式サイト www.sv3c.com/cd にアクセスし、ソフト「HiP2P Client」をダウンロードします。



ご注意: C 以外のドライブにインストールすることはオススメです。C ドライブにインストールにインストール場合は、管理員として実行してください。また、該当ソフトは Mac に対応しておりませんので、予めご了承ください。

2. カメラの追加方法

2.1 ソフト HiP2P Client を起動する

HiP2P Client を起動して  アイコンをクリックすると、ポップアップが表示され、パスワード入力欄を空いたままで「OK」をクリックします。



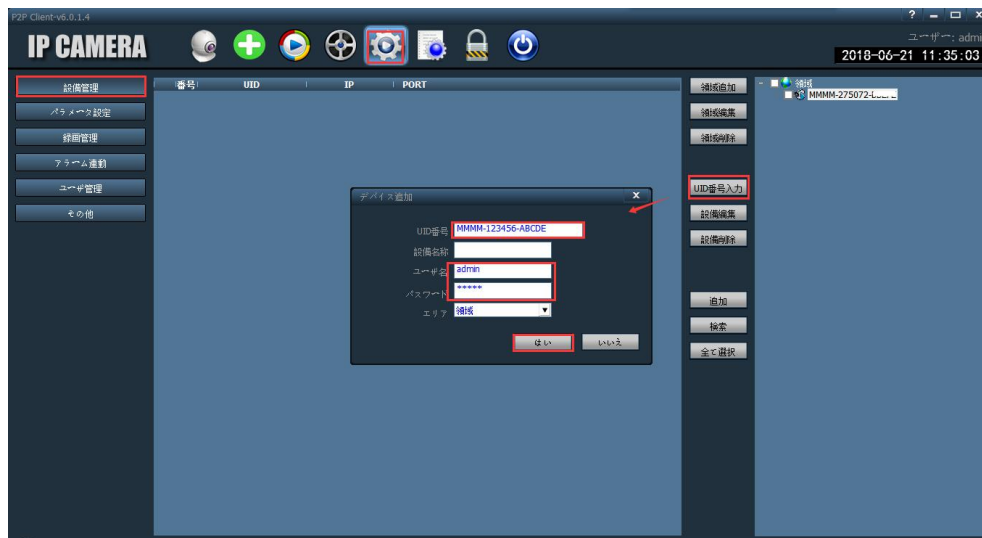
2.2 カメラを追加する

2.2.1 UID でカメラを追加する

 をクリックし、左メニューの「設備管理」を選択して右側の **UID番号入力** ボタンをクリックすると、画像のようなダイアログが表示されます。カメラのUIDとパスワードを入力します（初期パスワードは admin であり、変更したことがある場合は変更後のパスワードを入力ください）。

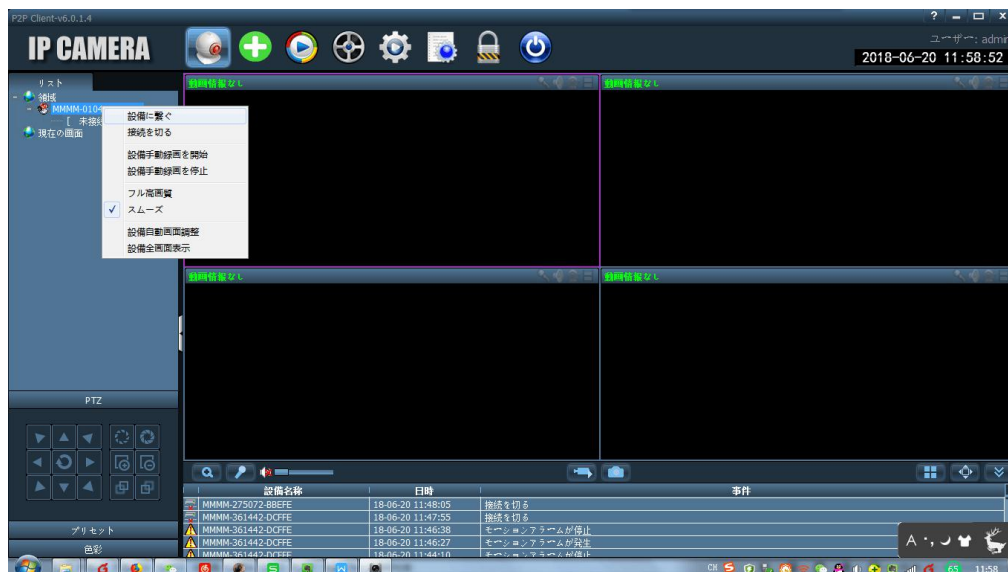
ご注意：カメラのUIDを取得には二つの方法があります（カメラによってUIDが異なる）。

1. 検索ツールでカメラのIPアドレスを検索する際、UIDも表示されます（検索ツールについての紹介は検索ツール部分のユーザーマニュアルを参考ください）。
2. スマホのアプリでカメラを成功に追加する場合、カメラのUIDはトップページに表示されます。



2.2.2 カメラのライブ映像を確認する

 アイコンをクリックし、カメラのUIDを選択して右クリックします。「設備に繋ぐ」を選択してから数秒を待ちしたら、カメラはオンラインになります。カメラのUIDをダブルクリックすると、ライブ映像がディスプレイ欄に表示されます。

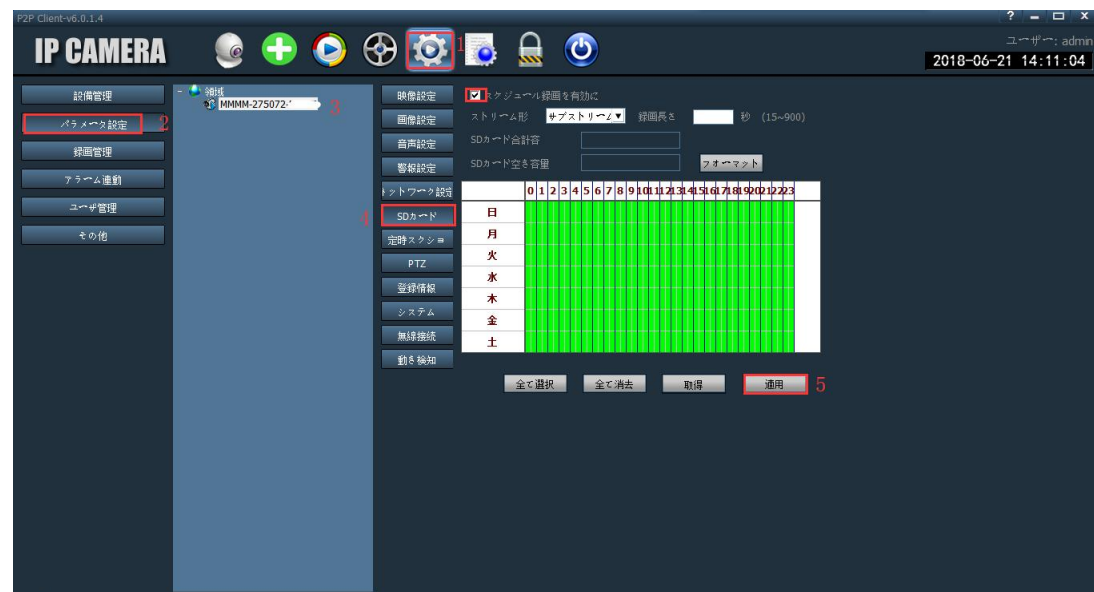


3. 録画の設定と確認方法

3.1 録画の設定方法

3.1.1 スケジュール録画の設定方法

 アイコン-パラメータ設定-カメラ UID-SD カードの順でクリックすると常時録画の設定画面が表示されます。チェックを入れたり外したり、全て選択または全て消去を選択してから適用をクリックすると設定完了になります。
*設定前は SD カードを挿入してフォーマットしてください。



3.1.2 動体検知録画の設定方法

 アイコン-パラメータ設定-カメラ UID-警報設定の順でクリックすると動体検知の設定画面が表示されます。お客様のニーズによって各オプションを設定してから適用をクリックすると設定完了になります。
*ラーム日時設定で動体検知の動作時間を設定することができます。



3.2 録画の確認方法



アイコンをクリックし、カメラのUIDと日付を選択してから「検索」をクリックすると、SDカードに保存した録画ファイルが表示されます。録画ファイルをダブルクリックすると、録画の再生が始まります。



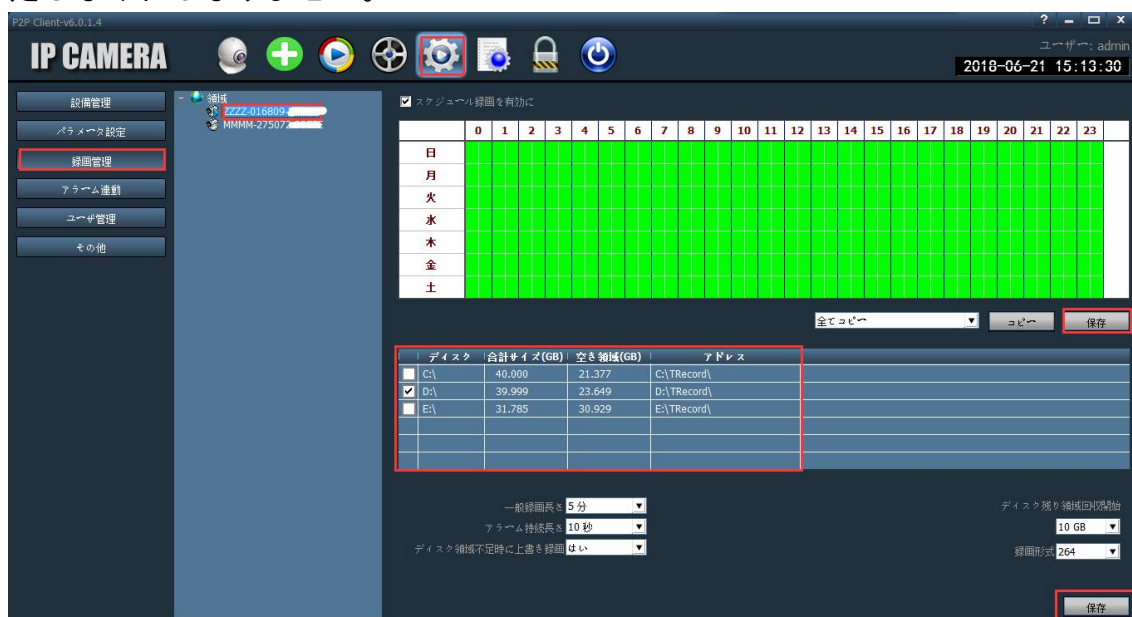
3.3 ディスク録画の設定方法（PCのディスクに保存する）

3.3.1 保存位置を設定する



アイコン-録画管理-カメラUIDの順でクリックするとディスク録画の設定画面が表示されます。保存したいディスクにチェックを入れ、「保存」をクリックすると設定が完了になります。

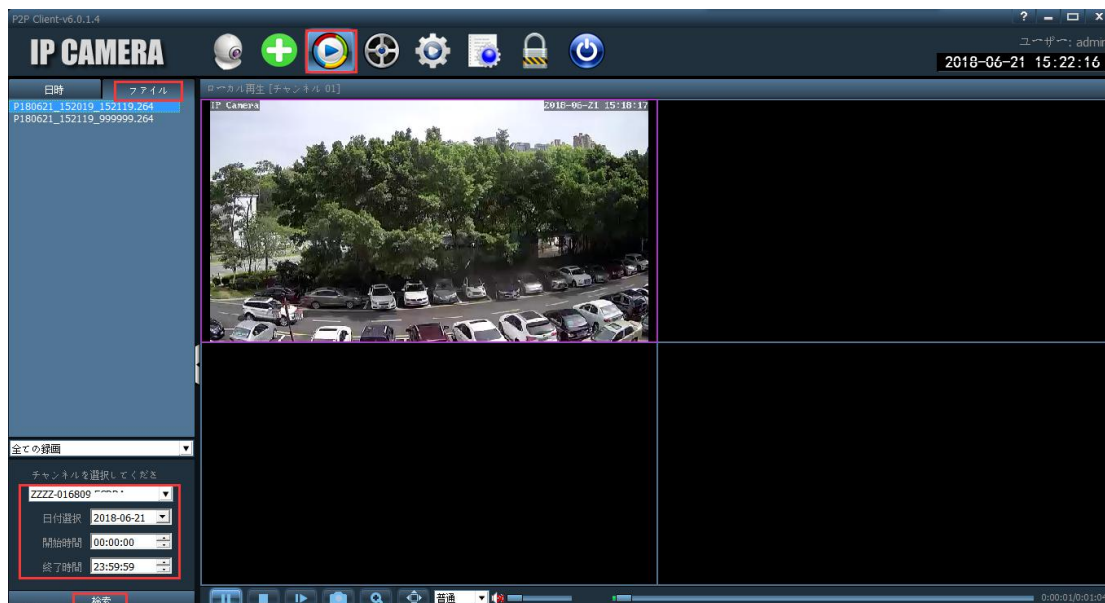
*初期はDディスクに保存するので、Cディスクのみ持っている場合は、Cに設定しなければなりません。



3.3.2 ディスク録画の確認方法



アイコンを選択し、カメラのUIDと日付を選択してから「検索」をクリックすると、ディスクに保存した録画ファイルが表示されます。録画ファイルをダブルクリックすると、録画の再生が始まります。



ご注意: ディスク録画機能を利用する時、PC を起動状態にする必要があります。PC をシャットダウンすると、ディスク録画も停止します。

4. HiP2P Client インタフェースに関する簡単紹介

